

2021年04月15日 3面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#) 

## 前田道路／川崎営業所敷地内に舗装技術体験施設整備／既存寮をリノベーション



武川副社長らによるテープカット



完成した「まえだTEQ」

前田道路は、川崎市高津区の川崎営業所敷地内に、自社の舗装技術などを体感できる施設「まえだTEQ」を整備した。既存寮などを関連技術などを用いてリノベーションするとともに、特殊景観舗装の実物展示スペースなども設置。集中豪雨や干害の環境対策工法も取り入れた。地域貢献の一環で、敷地の一部を「まえだパーク」と名付け、住民の憩いの場や緊急避難場所として開放する。

同施設では地域の集中豪雨対策として、地下に樹脂製成型ユニットを埋設して雨水貯留できる「アクアプラ工法」を導入。50立方メートルを貯留できる。ためた雨水は緑化された駐車場への自動かん水のほか、手押しポンプで保水性舗装へ打ち水や災害トイレなどに利用する。研究開発中の無動力かん水装置も取り入れており、将来的には太陽光発電との連動も見据える。

展示スペースでは、たわみ性舗装「御影石風ベアコート」や遮熱性舗装「ヒートオフペイブ」、型押しアスファルト舗装など16種類の特殊景観舗装材を紹介。単身社員向けの寮（30室）も併設することで、社内教育や研究開発、ブランド力の向上などに役立てる。

所在地は高津区久地3の12の13。敷地面積は1381平方メートル。14日に現地で開いた完成式典で、武川秀也代表取締役副社長は「憩いや緊急避難の場所として地域に役立つよう努力する」と語った。西川博隆会長は「既存建物が老朽化していた。リニューアルにより地域に貢献したい」と述べた。

記事ID : 3202104150307

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます